

経営比較分析表（令和2年度決算）

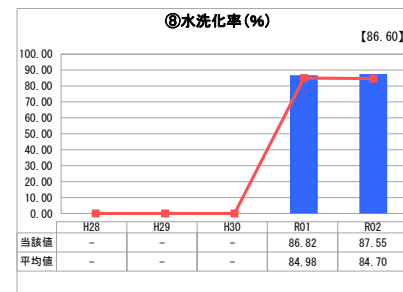
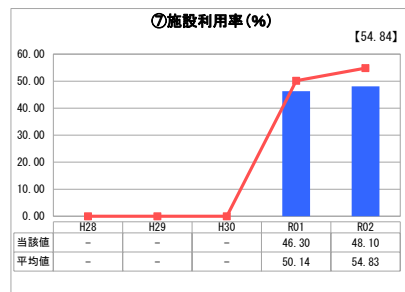
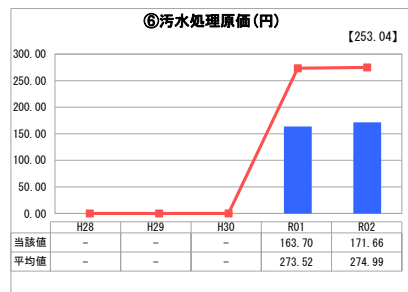
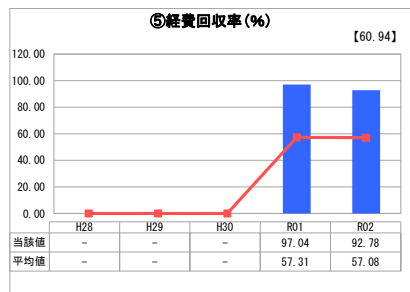
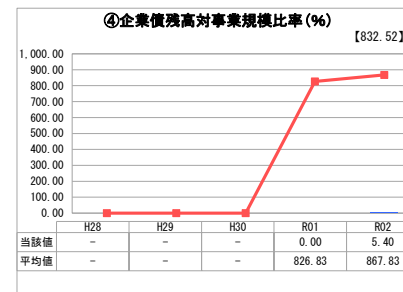
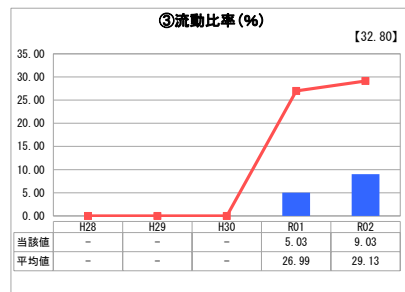
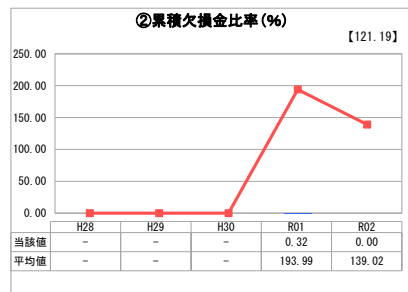
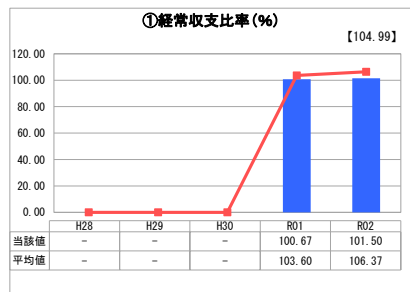
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.30	27.92	93.67	3,300

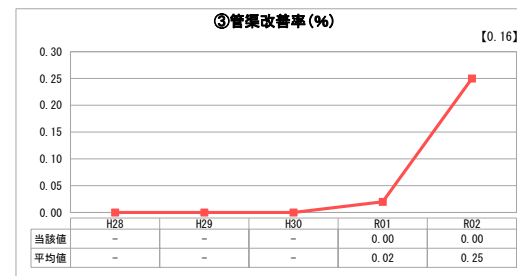
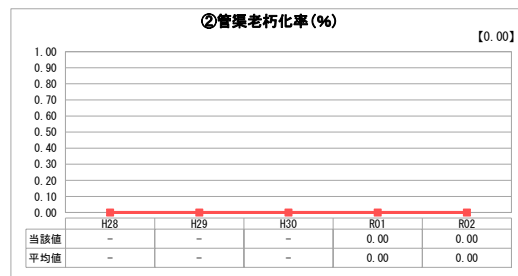
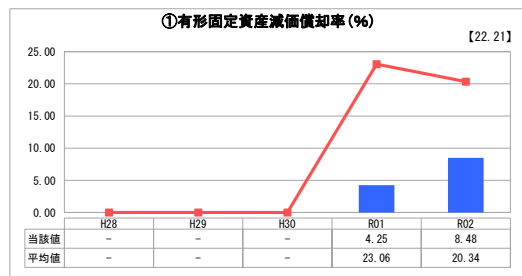
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,552	246.76	79.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,422	5.46	993.04

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
指標は100%を超えているが、町からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。

③ 流動比率・④ 企業債残高対事業規模比率
経営戦略に基づき、将来における下水道使用料の見直しに取組み、またストックマネジメント計画により設備の改築・更新を効率的に行い、新規企業債を抑制しながら、単年度における収支バランスを図っていく。

⑤ 経費回収率
類似団体平均値との比較では、高い数値で推移しているが、前年度比は下降傾向である。今後、更なる汚水処理費の削減を図りながら経営改善に努めていく。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値と比較し、低い数値で推移しているが、今後も経営安定化を図るため、維持管理費の抑制に努める。

⑦ 施設利用率
類似団体平均値と比較し、低い数値となっているが、人口減少によるものと推測される。今後は、経営効率化に向け、施設の統廃合を検討していく。

⑧ 水洗化率
類似団体平均値とほぼ同じ数値であるが、今後も未接続者に対し、早期接続を推進しながら水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

町内16カ所の処理場は、供用開始後20年以上を経過した施設が大半を占めている。特に場内に設置されている機械設備等は、耐用年数が経過しているものも多い。

このことから今後、施設の統廃合を検討・整備しながら、維持管理費のコストを削減するとともに、施設設備の改築・更新費用を抑制していく。

管渠施設の老朽化については、供用から年数が浅いため、指標に表れていないが、将来において計画に基づき、効率的に更新を行っていく。

全体総括

農業集落排水事業は、町内16カ所に整備されているが、事業の性格上、中山間部の集落が大部分を占めるため、高齢化・人口減少に伴う経営の悪化が危惧されている。

このことから、持続した経営を維持するため、将来的に公共下水道や隣接処理区との統廃合を図り、下水道事業全体の維持管理費の削減を実現し、経営の安定化に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。